

“小さな町の大きなチャレンジ”でスタートした「北オホーツク 100 km マラソン」は、全国のウルトラランナーの皆様と浜頓別町の皆様が、一体となって挑戦するまちづくりに取り組んで参りました。これまでにこの大会に対して、多くの方々の参加とエールを送っていただいた全ての皆様に心より深く感謝とお礼を申し上げます。

「北オホーツク 100 km マラソン」は、北北海道の雄大な自然を背景に、ランナーの皆様を厳しさと温かきで包み込み、感動へと導き、ゴールを目指して取り組んで参りました。

顧みると、第 1 回大会から慣れない手探り作業と不安の中、ランナーの皆様にご迷惑ばかりおかけし、満足いただける大会にするには、まだまだ程遠いものでありました。

毎回、ランナーの皆様や関係者の皆様からのご意見を基に、少しずつ“北オホ”らしく改善しながら挑戦を重ね、2020 年 7 月 26 日には“第 10 回北オホーツク 100 km マラソン”大会の開催に向け、大会準備を進めて参りました。しかし、この年の冬、全国に新型コロナウイルス感染症の確認後、緊急事態宣言が出され、感染者数が連日更新される中、私たち大会スタッフは苦渋の選択として、大会の中止を決断いたしました。その後以降も、第 10 回大会を開催すべく、協議と準備を進めて参りましたが、スタッフやボランティア等の大会関係者を含めて万全な運営体制が取れないことから、このたび、実行委員会に諮り今後の大会開催は困難であるとの考えに至り、志半ばではありますが大会の終了を決定させていただきました。

これまで私たちは、多くのランナーの皆様から勇気をいただき、小さなマチの全力応援の中で、少しずつ成長してきました。大会前や大会中、「おかえりなさい。」…との声を聞いた時、ランナーの皆様と町民の皆様の深い絆を感じずにはいられませんでした。

結びになりますが、ランナーの皆様、ご声援ご協賛ご協力をいただいた関係各位、そして、多くのボランティアサポーターの皆様に対し、深くお礼と感謝を申し上げます、大会終了の挨拶といたします。

長い間、本当にありがとうございました。

令和 5 年 2 月 21 日

北オホーツク 100 km マラソン実行委員会

実行委員長 丹羽 幹典